

貧酸素水塊速報 (2022年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 神奈川県水産技術センター ○内湾底びき網研究会連合会
 【協力】 千葉県環境研究センター 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 (国)国立環境研究所
 ○モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

令和4年6月28日観測結果

貧酸素水塊は内湾に広く分布していました(図1)。6月24日から南風が強く吹き続けているため、湾奥に表層水が流れ込み、底層DOも上昇しています。貝類の生存に影響を及ぼすDOが1.5 ml/L未満の海域も見られます。本日の調査で一部欠測があったため、縦断ラインは表示しません。

表層水温21～26℃、底層水温16℃～20℃でした。

*内湾底びき網研究会連合会による調査結果です。調査に参加された方はお疲れ様でした。

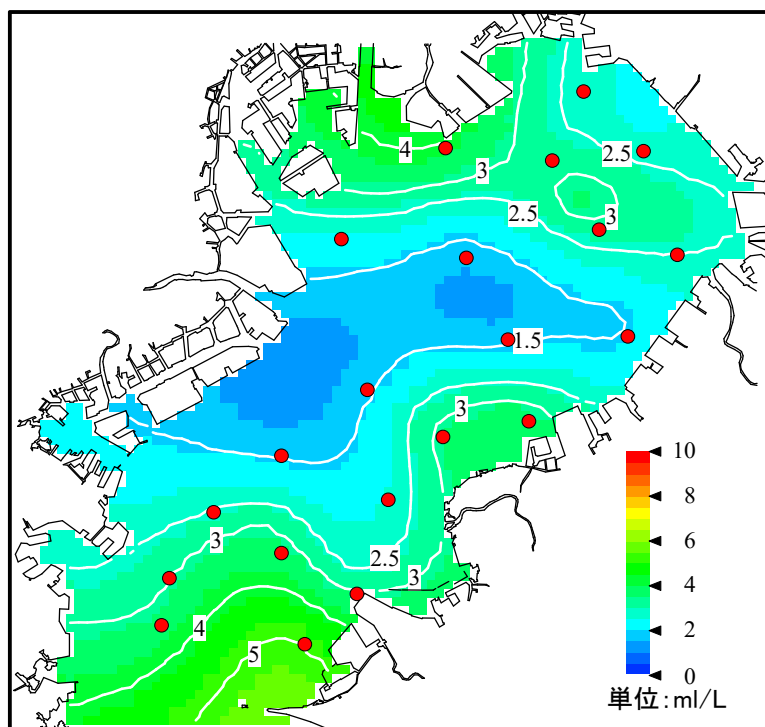


図1 底層の溶存酸素量分布

酸素飽和度と溶存酸素量(DO)の目安		
酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5mL/L	貧酸素水塊
30～40%	2.0mL/L	魚類に影響
	1.5mL/L	貝類危険
	1.0mL/L	